

平成 26 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

目次

各課の主要事項説明

《一般会計予算主要事項説明》

【総務課】

防災費・・・・・・・・ 1

【企画課】

コミュニティタクシー運行事業・・・・・・・・ 2

行政放番組充実及び人材育成事業(緊急雇用対策) 【新】・・・・ 3

【税務課】

ファイナンシャルプランナー委託事業 【新】・・・・ 4

【住民課】

国民健康保険事業・・・・・・・・ 5

後期高齢者医療事業・・・・・・・・ 6

【保健福祉課】

地域子育て支援事業・・・・・・・・ 7

子どもの医療事業・・・・・・・・ 8

小学生・中学生医療事業・・・・・・・・ 9

臨時福祉給付金事業 【新】・・・・ 10

子育て世帯臨時特例給付金事業 【新】・・・・ 11

保育士等処遇改善事業(緊急雇用対策) 【新】・・・・ 12

町立保育園公設民営化費・・・・・・・・ 13

学童保育事業・・・・・・・・ 14

母子健康診査事業・・・・・・・・ 15

予防接種事業・・・・・・・・ 16

【長寿社会課】

敬老の日記念事業・・・・・・・・ 17

地域サロンモデル事業・・・・・・・・ 18

障害者自立支援給付費・・・・・・・・ 19

相談支援事業・・・・・・・・ 20

【生活環境課】

剪定枝等樹木粉碎機整備事業 【新】・・・・ 21

ごみ処理センター負担金(西部広域環境組合)・・・・ 22

【水道課】

上水道一部事務組合への出資事業・・・・・・・・ 23

水道事業会計への補助金・・・・・・・・ 24

【下水道課】

浄化槽整備推進事業・・・・・・・・ 25

特定環境保全公共下水道(計画策定経費) 【新】・・・・ 26

公共下水道等接続促進事業・・・・・・・・ 27

【産業課】

有明佐賀空港夜間貨物便基金畜産振興事業・・・・・・・・ 28

有明佐賀空港夜間貨物便基金PRイベント事業・・・・・・・・ 29

農業振興地域整備計画費・・・・・・・・ 30

直接支払推進事業・・・・・・・・ 31

新規就農・経営継承総合支援事業・・・・・・・・ 32

有害鳥獣広域駆除対策事業・・・・・・・・ 33

(有害鳥獣被害防止対策事業費補助金)

さが園芸農業者育成対策事業	・ ・ ・ ・ 34
産地競争力強化事業	・ ・ ・ ・ 35
県産自給飼料増産対策事業	・ ・ ・ ・ 36
まちの元気づくりプロジェクト支援事業	・ ・ ・ ・ 37
しろいしブランド確立対策事業	・ ・ ・ ・ 38
まちおこし事業	・ ・ ・ ・ 39

【農村整備課】

地盤沈下対策事業	・ ・ ・ ・ 40
筑後川下流土地改良事業推進事業費	・ ・ ・ ・ 41
基幹水利施設ストックマネジメント事業	・ ・ ・ ・ 42
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	・ ・ ・ ・ 43
基幹水利施設管理事業佐賀西部白石地区	・ ・ ・ ・ 44
佐賀西部導水路管理事業	・ ・ ・ ・ 45
多面的機能支払交付金・農地維持支払事業	【新】・ ・ ・ ・ 46
〃 ・資源向上支払(共同活動)事業	・ ・ ・ ・ 47
〃 ・資源向上支払(長寿命化)事業	・ ・ ・ ・ 48
漁業経営構造改善事業	【新】・ ・ ・ ・ 49
新有明漁港整備事業	・ ・ ・ ・ 50

【土木管理課】

地籍情報管理費	・ ・ ・ ・ 51
分譲宅地販売事業	・ ・ ・ ・ 52
公営住宅ストック総合改善事業	・ ・ ・ ・ 53

【建設課】

道路新設改良費	・ ・ ・ ・ 54
社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良費)	・ ・ ・ ・ 55
りんりん公園整備事業	・ ・ ・ ・ 56

【学校教育課】

スクールカウンセラー配置事業	・ ・ ・ ・ 57
適応指導教室事業	・ ・ ・ ・ 58
小学校教育振興費(移動パソコン教室)	・ ・ ・ ・ 59
電子黒板整備事業	・ ・ ・ ・ 60
小学校・学校施設改修費	・ ・ ・ ・ 61

【生涯学習課】

文化活動推進・文化財保護費	・ ・ ・ ・ 62
青少年育成費	・ ・ ・ ・ 63
町スポーツ大会費	・ ・ ・ ・ 64
ロードレース大会費	・ ・ ・ ・ 65
福富社会体育館改修事業	・ ・ ・ ・ 66

【しろいしみのり杵事業一覧】

総括表	・・・・ 67
口座振替推進キャンペーン事業	【新】・・・・ 68
次世代自動車充電インフラ整備事業	【新】・・・・ 69
婚活サポート事業費	【新】・・・・ 70
親元就農促進支援事業	【新】・・・・ 71
6次産業推進事業	・・・・ 72
住民協働環境整備資材等支給事業	【新】・・・・ 73
役場案内標識設置事業	【新】・・・・ 74

【平成25年度過疎債充当事業一覧】

・・・・ 75

《特別会計予算主要事項説明》

【住民課】

国民健康保険特別会計	・・・・ 76～79
後期高齢者医療特別会計	・・・・ 80

【下水道課】

農業集落排水特別会計(農業集落排水機能強化事業)	【新】・・・・ 81
特定環境保全公共下水道特別会計 (公共下水道施設整備費)	・・・・ 82

【水道課】

水道事業会計(水道管管網整備事業)	・・・・ 83
-------------------	---------

区分		平成26年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	9	項	1	目	4	細事業名	防災費			所属	総務課	
目 名 称		防災費										
目 の 予 算 額		6,671				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		3,345				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	146・147	
										3,345	継 続	
			前年度当初 2,188 前年度最終 1,902									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備		
1 目的 白石町地域防災計画に基づいた防災対策を計画的に行うものであり、下記事業により町民の安全安心を与えるとともに防災意識の啓発を行う。												
2 事業内容 ・防災システム機能強化検討事業 防災無線の種類、特徴等について調査研究を行う ・防災費 防災会議・・・白石町地域防災計画の作成及びその実施の推進 防災訓練・・・町主催による防災訓練の実施。 防災啓発・・・広報又はホームページによる情報提供、出前講座による防災意識の啓発。 災害時用の備蓄品・・・災害に備えて食糧等を備える。												
3 予算額 ・防災システム機能強化検討事業 報償費 162 千円 防災システム機能強化検討委員会 特別旅費 200 千円 調査研究旅費 委託料 1,000 千円 調査研究委託料 ・防災費 報酬・費用弁償 70 千円 防災会議 需用費 760 千円 災害時用備蓄品、防災PR用品等 印刷製本費 940 千円 地域防災計画印刷費 役務費 72 千円 緊急電話通信料 使用料及び賃借料 49 千円 機械借上げ料 原材料費 32 千円 災害対策用原材料 負担金、補助及び交付金 60 千円 水難救済会負担金												
4 事業の効果 初動体制の確立、町民への情報提供の充実又は防災の啓発に努めることにより、災害を最小限に抑えることができる。												

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	コミュニティタクシー運行事業				所属	企画課	
目 名 称		地域づくり推進費											
目 の 予 算 額		36,414				財 源 内 訳				予算書頁			
予 算 額		15,793				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59		
								15,000		793	継 続		
		前年度当初	13,988	現計予算	13,988								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実		

1 目的

合併後、新しい町の地域生活の向上や町の活性化などのために地域生活交通の確保が必要であり、新町の一体化を強化するとともに、利用者のニーズや利用実態を踏まえ、地域の実情に応じた生活交通の確保、輸送体系の確立を図る。

2 事業内容

道路運送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の实情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議・決定し、コミュニティタクシーの運行事業を行う。

- ・地域公共交通会議の開催(コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要な事項を協議する会議の開催)
- ・白石町内コミュニティタクシー運行事業 (定時定路線型…牛間田横手線、福富線)(デマンド型…町内全域を4エリアに分けて運行)

3 予算額

報償費	119	地域公共交通会議委員報償	
旅 費	19	地域公共交通関係研修会	
需用費	112	時刻表他印刷費	
負担金補助 及び交付金	15,543	・定時定路線型(いこカー)運行費	8,889,000円
		・デマンド型(予約制いこカー)運行費	6,654,000円

4 事業の効果

新町の一体性を強化するとともに、付加価値の高い交通体系の整備・充実を目指すことができる。
自家用自動車の利用抑制に努め、二酸化炭素排出削減を図り、地球温暖化防止に努めることができる。

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円										
款	2	項	1	目	9	細事業名		行政放送番組充実及び人材育成事業 (緊急雇用対策)				所属	企画課					
目 名 称		広報広聴費																
目の予算額		13,079					財 源 内 訳								予算書頁			
予 算 額		7,510 前年度当初 0 前年度最終 0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	60						
								7,510			0	新 規						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】					基本計画 第 4 節	情報通信ネットワークの整備・充実							
1 目的														行政放送「白石町役場だより」の番組企画、取材、編集、作成等を業者に委託することで番組内容の向上を目指すとともに、委託先においてその業務を行うため雇用された者へ、必要な知識・技術習得のための研修を充分に行い、就業に向けた人材育成を行う。				
2 事業内容														緊急雇用創出基金事業(地域人づくり事業)を活用し、委託先において雇用された者に対し、必要な知識・技術習得のための研修を行う。研修を充分に行い、行政放送の企画→取材→編集に従事させ「白石町役場だより」を作成する。				
事業費 7,510 千円 雇用者 2人 実施予定時期 平成26年4月～平成27年3月 実施方法 委託																		
3 予算額														13、委託料 7,510 千円				
4 事業の効果														行政放送の番組内容を充実させることで、町民にわかりやすく情報提供ができる。併せて雇用者の知識・技術習得につながり就業への契機にもなる。				

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	2	目	2	細事業名	ファイナンシャルプランナー委託事業			所属	税務課	
目 名 称		賦課徴収費										
目 の 予 算 額		19,222										
						財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		648 前年度当初 0 前年度最終 0				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	66	
										648	新 規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進	

1 目的

納税困難な滞納者に経済的自立を目的とした債務整理相談等をファイナンシャルプランナーに委託することで生活再建を支援し、税收確保に努める。

2 事業内容

- ・ 相談業務 月1回開催 1回当たり6時間 別途職員研修も開催
- ・ 業務内容 金融対策・ライフプランの見直し、年金対策、経営安定対策等

3 予算額

ファイナンシャルプランナー委託料 648千円

4 事業の効果

滞納者の債務整理、生活改善をすることで生活水準を向上させ滞納解消へつなげることができる。

区分		平成26年度 当初		会計		一般会計		単位:千円			
款	3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費			所属	住民課
目 名 称		社会福祉総務費									
目 の 予 算 額		402,051				財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	210,446				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	76・77	
	前年度当初	212,404	前年度最終	213,157	7,500	61,500			141,446	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 1 節		参加と交流の促進	
1 目的											
国民健康保険事業費については、保険基盤安定繰出金、事務費等繰出金、出産育児一時金繰出金、財政安定化支援事業繰出金、財政補填繰出金を繰り出し、国保財政を支援している。保険基盤安定繰出金のうち、保険税軽減分については、低所得者に対して軽減した税額分を県及び町で補填する事業であり、保険者支援分は、軽減対象となった一般被保険者数に応じ算定されて繰り出される事業である。また、国保事業を執行するために必要な経費として、一般管理費、連合会負担金、運営協議会費があるが、これについても町が事務費等繰出金として支援している。次に、被保険者が出産したときに支払われる出産育児一時金に対しても一定割合の支援金を繰り出している。次に保険者の責めに帰することができない特別の事情による国保財政の負担増分を支援する財政安定化支援事業繰出金がある。最後に前年度の国保特別会計の収支が赤字となった場合、協議により赤字額を補填する財政補填繰出金により脆弱な国保財政の支援を行っている。											
2 事業内容											
保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)											
市町村は、政令の定めるところにより、保険料(税)軽減相当額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされているが、(法第72条の3第1項)、都道府県は、政令の定めるところにより、その繰入金の3／4に相当する額を負担することとなっている。											
保険基盤安定繰出金(保険者支援分)(平成22年度から4年間の時限措置)											
保険税軽減の対象となった一般被保険者の数に応じて平均保険税の一定割合を公費で補填することにより、低所得者を多く抱える市町村を支援し、中間所得者層を中心に保険税負担を軽減する保険者支援制度が創設され、市町村は、政令の定めるところにより、支援額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされているが(法附則第24条第1項)、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰入金の1／2、1／4を負担することとなっている。(法附則第24条第2項、第3項)											
事務費等繰出金											
国保事業を執行するために必要な一般管理費、連合会負担金、運営協議会費を町が事務費等繰出金として支援している。											
出産育児一時金繰出金											
被保険者が出産したときに支払われる出産育児一時金に対しても補助金額の2／3の支援金を繰り出している。											
財政安定化支援事業繰出金											
被保険者の応能保険料(税)負担能力が特に不足していること、病院の病床数が特に多いこと、被保険者の年齢構成が高齢者に偏っていることの三つの事由を想定して地方財政措置が講じられている。											
財政補填繰出金											
保険税率(額)の改定だけでは賄えない収入不足について、H25からH27まで一般会計から財政補填することで、国保特会の財政運営を支援する。											
3 予算額											
保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)				77,000千円		保険基盤安定繰出金(保険者支援分)				15,000千円	
事務費繰出金				9,446千円		出産育児一時金繰出金				14,000千円	
財政安定化支援事業繰出金				15,000千円		財政補填繰出金				80,000千円	
4 事業の効果											
国民健康保険特別会計の財政が健全に運営される。											

区分		平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業費			所属	住民課
目 名 称		老人福祉費					財 源 内 訳			予算書頁	
目 の 予 算 額		1,169,512								86	
予 算 額		473,384				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	86
		前年度当初 471,856 前年度最終 459,123					84,179			389,205	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実			
-------------------------------	--	--	---------------	---------------------------	--	--	---------------	---------	--	--	--

- 1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。

- 2 事業内容 町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

3 予算額	項 目	金 額	説 明	
後期高齢者 医療特別 会計繰出金	負担金	344,792	市町村定率負担(一般会計から広域連合特別会計へ納付・高確法第98条) 白石町分療養給付見込額 4,201,316千円ー特定費用(3割負担分) 63,811千円＝負担対象額 4,137,505千円 負担対象額 4,137,505千円×定率負担 1/12 ＝ 344,792千円	
			徴収経費等事務費	特別会計(町)の総務管理費84千円＋徴収費758千円＝842千円 その内徴収費に充当できる督促手数料分(70,000円)を控除して計上 772千円
			広域連合共通経費一般会計分	広域連合運営経費等(職員人件費、議会等他) 均等割(10%)922千円＋人口割(45%)2,463千円＋高齢者人口割(45%)3,160千円 (県広域連合計184,479千円の約3.55%) 6,547千円
			広域連合共通経費特別会計分	運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%)1,037千円＋人口割(45%)2,770千円＋高齢者人口割(45%)3,554千円 (県広域連合計 207,446千円の約3.55%) 7,362千円
			被保険者証郵送代実費負担金	1,673千円
			保険基盤安定負担金	負担金対象額 112,238千円 102,629千円＋9,609千円 町負担(1/4) 28,059 低所得者軽減分＋被扶養者軽減分 県負担(3/4) 84,179
	計	473,384	県負担分は、一般会計で歳入し町負担と合わせて特別会計へ繰出、広域連合へ納付	

- 4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	5	細事業名	地域子育て支援事業				所属	保健福祉課	
目 名 称		次世代対策費					財 源 内 訳				予算書頁		
目 の 予 算 額		67,014									94		
予 算 額	13,269				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	94			
					3,067	3,067			7,135	継 続			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実			
1 目的 少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子供や子育てをめぐる環境が大きく変化するなか、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や負担感の増大といった問題が生じている。子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。													
2 事業内容													
1 地域子育て支援拠点事業 常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。 事業形態 ひろば型、週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日) 時間:午前9時～午後5時													
2 一時預かり事業(地域密着Ⅱ型) 家庭において一時的に保育に欠ける乳幼児について、一時的に必要な保育を行う。 事業形態 週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日) 時間 午前9時～午後5時													
白石町社会福祉協議会に事業委託、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。													
3 予算額 (千円)													
節	事業名				金額	財源内訳							
						国庫支出金	県費	その他	一般財源				
13 委託料	地域子育て支援事業				13,269	3,067	3,067	0	7,135				
財源内訳: 平成26年度～保育緊急確保事業へ移行【平成25年度まで安心こども基金特別対策事業 国1/3、県1/3、市町1/3 地域子育て支援拠点事業 国 2,211,000円、県 2,211,000円 一時預かり事業 国 856,000円、県 856,000円													
4 事業の効果 子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティ活性化を実現できる場とする。													

平成24年度利用状況(延べ人数)				
年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H24.10	283	360	643	79
H24.11	242	301	543	97
H24.12	219	279	498	115
H25. 1	221	267	488	100
H25. 2	277	356	633	123
H25. 3	271	373	644	113
計	1,513	1,936	3,449	627

平成25年度利用状況(延べ人数)				
年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H25. 4	190	243	433	70
H25. 5	224	281	505	95
H25. 6	273	345	618	115
H25. 7	341	443	784	103
H25. 8	293	389	682	77
H25. 9	291	382	673	78
H25.10	313	410	723	98
H25.11	269	331	600	108
H25.12	213	271	484	106
H26.1	201	265	466	102
計	2,608	3,360	5,968	952

平成24年度利用状況(延べ人数)

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H24.10	283	360	643	79
H24.11	242	301	543	97
H24.12	219	279	498	115
H25. 1	221	267	488	100
H25. 2	277	356	633	123
H25. 3	271	373	644	113
計	1,513	1,936	3,449	627

平成25年度利用状況(延べ人数)

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H25. 4	190	243	433	70
H25. 5	224	281	505	95
H25. 6	273	345	618	115
H25. 7	341	443	784	103
H25. 8	293	389	682	77
H25. 9	291	382	673	78
H25.10	313	410	723	98
H25.11	269	331	600	108
H25.12	213	271	484	106
H26.1	201	265	466	102
計	2,608	3,360	5,968	952

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費			所属	保健福祉課
目 名 称	保健衛生総務費										
目 の 予 算 額	185,418						財 源 内 訳			予算書頁	
予 算 額	47,548					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97～99
							23,673	23,000	201	674	継 続
前年度当初 43,504 前年度最終 43,504											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的

出生から就学前子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

※出生から就学前までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。

※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。

※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。

※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

役務費(支払審査手数料) 2,347,410円

国保連合会		9,000件 × @96.9円 =	872,100円
支払基金	医科・歯科	11,300件 × @98.7円 =	1,115,310円
	調剤	7,200件 × @50.0円 =	360,000円
27,500件		2,347,410円	

医療費支払い実績(見込(現物給付+償還払))

支払月	H25年度		H26年度(見込)	
	件数	金額	件数	金額
4月	2,341	3,641,845	2,500	3,800,000
5月	2,432	4,021,509	2,500	4,000,000
6月	2,111	2,769,068	2,300	2,900,000
7月	1,982	2,963,844	2,000	2,900,000
8月	1,996	2,783,226	2,000	2,900,000
9月	1,955	2,645,147	2,000	2,900,000
10月	1,969	2,799,269	2,000	2,900,000
11月	1,979	2,701,055	2,000	2,900,000
12月	2,100	3,823,570	2,400	3,900,000
1月	2,167	3,111,096	2,600	3,900,000
2月	2,153	3,641,888	2,600	3,900,000
3月	2,600	3,300,000	2,600	3,900,000
未熟児医療	15	300,000	20	400,000
計		38,501,517		41,200,000

3 予算額

(千円)

節	予算額	財源内訳				内 容
		県補助金	高額医療収入	その他	一般財源	
12 役務費	2,348	23,673	201	0	23,674	審査手数料(国保連・支払基金)
20 扶助費	41,200					H25実績,H26見込より推計
23 繰出金	4,000					現物給付に伴う国保財政影響分
計	47,548	23,673	201	0	23,674	

4 事業の効果

病気に感染しやすい乳幼児に対しての医療費を助成することで、疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	小学生・中学生医療事業費			所属	保健福祉課
目 名 称	保健衛生総務費										
目の予算額	185,418					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	20,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98
	前年度当初 18,400 前年度最終 20,400							20,000		400	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実	

1 目的

小学生、中学生の医療費の一部を助成することにより、疾病の早期治療と保護者の経済的負担の軽減を図る。

2 事業内容

小学生・中学生を対象に、保険医療機関等において医療を受け、医療費の一部を負担した場合は、当該一部負担金から自己負担金(入院及び入院外それぞれ1月につき1,000円。ただし、薬局は除く。)を控除した額を助成する。支払い方法は、償還払いとする。

3 予算額

(単位:円)

節	予算額
20 扶助費	20,400,000
計	20,400,000

4 事業の効果

子どもの疾病の早期発見、早期治療及び家庭の経済的負担の軽減を図る。

医療費支払(見込)状況

(単位:円)

支払月	平成25年度実績		平成26年度見込	
	件数	金 額	件数	金 額
4月	897	1,644,795	900	1,600,000
5月	972	1,894,710	900	1,900,000
6月	835	1,627,654	900	1,700,000
7月	1112	1,758,470	1000	1,700,000
8月	653	1,398,914	700	1,400,000
9月	600	1,149,926	700	1,400,000
10月	829	1,732,749	850	1,700,000
11月	889	1,520,509	850	1,600,000
12月	718	1,376,557	850	1,800,000
1月	649	1,627,904	850	1,800,000
2月	1166	1,990,432	950	1,900,000
3月	950	1,900,000	950	1,900,000
計	10,270	19,622,620	10,400	20,400,000

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	1	細事業名	臨時福祉給付金事業					所属	保健福祉課
目 名 称		社会福祉総務費											
目 の 予 算 額		402,051				財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	68,082				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74～76			
					68,082				0	新 規			
前年度当初				0 前年度最終				0					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	社会保障の充実			

1 目的

平成26年4月に消費税率が8%に上げられるに伴い、所得の低い方々への負担を配慮して、暫定的・臨時的に『臨時福祉給付金』を支給する。

2 事業内容

【基 準 日】…平成26年1月1日

【給付対象者】…平成26年度分の市町村民税(均等割)が課税されていない者から、以下の者を除いた者

・市町村民税(均等割)が課税されている方から扶養されている方や、生活保護の被保護者等

【給 付 額】…給付対象者一人につき、10,000円。ただし、給付対象者で以下の事項に該当する方は、一人につき5,000円を加算

・高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者等

・児童扶養手当の受給者

・特別児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者等

【実施方式】…実施主体は、市町村 (町が実施する給付事業に要する経費を対象として、国が補助金(補助率10/10)を交付)

3 予算額

区 分	予算額(千円)	説 明
職員手当等	1,300	時間外勤務手当、管理職特別勤務手当
賃 金	732	日々雇用職員賃金
需用費	消費品費	500 封筒・、用紙、事務用品
	印刷製本費	100 チラシ印刷費
役務費	通信運搬費	1,400 郵送料
	手 数 料	550 口座振込手数料
委 託 料	1,200	臨時福祉給付金システム開発委託料
使用料及び賃借料	300	事務機器リース料
(事務費小計)	6,082	
負担金補助及び交付金	62,000	臨時福祉給付金
合 計	68,082	

【支給対象者見込数】

・基本分の支給対象者…5,100人

・加算分の支給対象者…2,200人

4 事業の効果

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を緩和することが出来る。

区分		平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																																																				
款	3	項	2	目	1	細事業名	子育て世帯臨時特例給付金事業			所属	保健福祉課																																																
目 名 称		児童福祉総務費																																																									
目 の 予 算 額		72,622				財 源 内 訳					予算書頁																																																
予 算 額		33,500				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74～76																																																
						33,500				0	新 規																																																
前年度当初		0 前年度最終				0																																																					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実																																																	
1 目的 消費税引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として実施する。 児童手当の上乗せではなく、「臨時福祉給付金」と類似の給付金として、これと併給調整をして支給する。 2 事業内容 【基 準 日】・・・平成26年1月1日 【給付対象者】・・・平成26年1月分の児童手当の受給者であり、平成25年の所得が児童手当の所得制限額に満たない者で、対象児童が下記条件を満たした者 ①支給対象者の平成26年1月分の児童手当(特例給付を含む)の対象となる児童であること ②臨時福祉給付金の対象者でないこと ③生活保護制度内で対応される被保護者等でないこと 【給 付 額】・・・対象児童一人につき、10,000円 【実施方式】・・・実施主体は、市町村(町が実施する給付事業に要する経費を対象として、国が補助金(補助率10/10)を交付) 3 予算額 <table><tr><th>区 分</th><th>予算額(千円)</th><th>説 明</th></tr><tr><td>職員手当等</td><td>758</td><td>時間外勤務手当、管理職特別勤務手当</td></tr><tr><td>賃 金</td><td>732</td><td>日々雇用職員賃金</td></tr><tr><td rowspan="2">需用費</td><td>消耗品費</td><td>290 封筒・、用紙、事務用品</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>60 チラシ印刷費</td></tr><tr><td rowspan="2">役務費</td><td>通信運搬費</td><td>600 郵送料</td></tr><tr><td>手 数 料</td><td>200 口座振込手数料</td></tr><tr><td>委 託 料</td><td>690</td><td>子育て世帯臨時特例給付金システム開発委託料</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>170</td><td>事務機器リース料</td></tr><tr><td>(事務費小計)</td><td>3,500</td><td></td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>30,000</td><td>子育て世帯臨時特例給付金</td></tr><tr><td>合 計</td><td>33,500</td><td></td></tr></table> 【支給対象児童見込数】 ・支給対象児童数・・・3,000人 <table><tr><th colspan="2">所得制限限度額</th></tr><tr><th>扶養親族の人数</th><th>所得制限限度</th></tr><tr><td>0人</td><td>622万円</td></tr><tr><td>1人</td><td>660万円</td></tr><tr><td>2人</td><td>698万円</td></tr><tr><td>3人</td><td>736万円</td></tr><tr><td>4人</td><td>774万円</td></tr></table> 4 事業の効果 消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和することが出来る。												区 分	予算額(千円)	説 明	職員手当等	758	時間外勤務手当、管理職特別勤務手当	賃 金	732	日々雇用職員賃金	需用費	消耗品費	290 封筒・、用紙、事務用品	印刷製本費	60 チラシ印刷費	役務費	通信運搬費	600 郵送料	手 数 料	200 口座振込手数料	委 託 料	690	子育て世帯臨時特例給付金システム開発委託料	使用料及び賃借料	170	事務機器リース料	(事務費小計)	3,500		負担金補助及び交付金	30,000	子育て世帯臨時特例給付金	合 計	33,500		所得制限限度額		扶養親族の人数	所得制限限度	0人	622万円	1人	660万円	2人	698万円	3人	736万円	4人	774万円
区 分	予算額(千円)	説 明																																																									
職員手当等	758	時間外勤務手当、管理職特別勤務手当																																																									
賃 金	732	日々雇用職員賃金																																																									
需用費	消耗品費	290 封筒・、用紙、事務用品																																																									
	印刷製本費	60 チラシ印刷費																																																									
役務費	通信運搬費	600 郵送料																																																									
	手 数 料	200 口座振込手数料																																																									
委 託 料	690	子育て世帯臨時特例給付金システム開発委託料																																																									
使用料及び賃借料	170	事務機器リース料																																																									
(事務費小計)	3,500																																																										
負担金補助及び交付金	30,000	子育て世帯臨時特例給付金																																																									
合 計	33,500																																																										
所得制限限度額																																																											
扶養親族の人数	所得制限限度																																																										
0人	622万円																																																										
1人	660万円																																																										
2人	698万円																																																										
3人	736万円																																																										
4人	774万円																																																										

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円				
款	3		項	2		目	4		細事業名	町立保育園公設民営化費 (保育士等処遇改善事業・緊急雇用対策)			所属	保健福祉課
目 名 称			児童福祉施設費											
目の予算額			858,749					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額			7,000 前年度当初 0 前年度最終 0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	92	
									7,000				0	新 規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節		子育て支援の充実		
1 目的 保育士等の人材確保対策を推進する一環として、保育士等の処遇改善に取り組む保育所へ資金の交付を行うことにより、保育士等の確保を進める。 平成26年度緊急雇用創出基金事業(地域人づくり事業)の創設により取り組む。														
2 事業内容 保育士等の処遇改善に要する費用を指定管理保育園に交付する。 (有明ふたば保育園) (六角保育園・有明みのり保育園) ・平成25年度より公設民営化(指定管理期間5年) ・平成26年度より公設民営化(指定管理期間5年)														
3 予算額 (単位:千円)														
節		区分	保育園名	予算額	財源内訳									
					国庫	県費	その他	一般財源						
委託料		委託料 (保育士等処遇改善委託料)	有明ふたば保育園	2,780		2,780		0						
			六角保育園	2,540		2,540		0						
			有明みのり保育園	1,680		1,680		0						
4 事業の効果 ※ 緊急雇用創出基金事業(地域人づくり事業) 保育士等の処遇改善により、保育士等の人材確保が図られる。														

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円																																													
款	3		項	2	目	4	細事業名	町立保育園公設民営化費				所属	保健福祉課																																										
目 名 称		児童福祉施設費																																																					
目 の 予 算 額		858,749						財 源 内 訳				予算書頁																																											
予 算 額		277,593						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	92・93																																										
											60,560	217,033	継 続																																										
前年度当初 84,771 前年度最終 97,884																																																							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】					基本計画 第 1	子育て支援の充実																																											
1 目的																																																							
新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる。民営化を推進する。																																																							
2 事業内容																																																							
指定管理保育園		有明ふたば保育園(定員110名)				六角保育園(定員110名)				有明みのり保育園(定員50名)																																													
指定管理者事業者		社会福祉法人 旭ヶ岡福祉会				社会福祉法人 北方福祉会				学校法人 静光学園																																													
指定管理期間		平成25年4月～平成30年3月				平成26年4月～平成31年3月				平成26年4月～平成31年3月																																													
		<table><tr><th colspan="4">年齢区分</th><th rowspan="2">合計 (年間人員)</th></tr><tr><th>0歳児</th><th>1・2歳児</th><th>3歳児</th><th>4・5歳児</th></tr><tr><td>132</td><td>492</td><td>252</td><td>600</td><td>1,476</td></tr></table>				年齢区分				合計 (年間人員)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	132	492	252	600	1,476			<table><tr><th colspan="4">年齢区分</th><th rowspan="2">合計 (年間人員)</th></tr><tr><th>0歳児</th><th>1・2歳児</th><th>3歳児</th><th>4・5歳児</th></tr><tr><td>96</td><td>396</td><td>276</td><td>612</td><td>1,380</td></tr></table>		年齢区分				合計 (年間人員)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	96	396	276	612	1,380			<table><tr><th colspan="4">年齢区分</th><th rowspan="2">合計 (年間人員)</th></tr><tr><th>0歳児</th><th>1・2歳児</th><th>3歳児</th><th>4・5歳児</th></tr><tr><td>60</td><td>264</td><td>120</td><td>276</td><td>720</td></tr></table>		年齢区分				合計 (年間人員)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	60	264	120	276	720
年齢区分				合計 (年間人員)																																																			
0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児																																																				
132	492	252	600	1,476																																																			
年齢区分				合計 (年間人員)																																																			
0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児																																																				
96	396	276	612	1,380																																																			
年齢区分				合計 (年間人員)																																																			
0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児																																																				
60	264	120	276	720																																																			
3 予算額																																																							
(単位:千円)																																																							
節		区分		予算額		財源内訳																																																	
						国庫	県費	保育料	その他	一般財源																																													
13. 委託料 (民営化運営委託料)		有明ふたば保育園		101,130				18,800	3,500	78,830																																													
		六角保育園		87,667				22,900	2,500	62,267																																													
		有明みのり保育園		68,390				10,860	2,000	55,530																																													
小計				257,187				52,560	8,000	196,627																																													
19.負担金補助及び交付金(延長保育、世代間交流事業、障害児保育)		有明ふたば保育園		6,802						6,802																																													
		六角保育園		6,802						6,802																																													
		有明みのり保育園		6,802						6,802																																													
小計				20,406						20,406																																													
合計				277,593				52,560	8,000	217,033																																													
19節 ※延長保育:基本分4,569,000円+1時間1,335,000円 =5,904,000円 ※ 世代間交流(保育所地域活動事業) 1力園100,000円																																																							
※障害児保育事業:重度66,490円×1人分=797,880円																																																							
4 事業の効果																																																							
安心・安全な保育の実施																																																							

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	5	細事業名	学童保育事業費				所属	保健福祉課
目 名 称		次世代対策費										
目 の 予 算 額		67,014				財 源 内 記					予算書頁	
予 算 額	51,911					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	93～95	
							22,051		4,621	25,239	継 続	
前年度当初 25,219 前年度最終 33,079												

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】		基本計画 第 1 節	子育て支援の充実	
-------------------------------	--	--	--	---------------	---------------------------	--	---------------	----------	--

- 1 目的
保育に欠ける小学校低学年児童(原則1~3年生)を対象に学校終了後から夕方6時まで学校の余裕教室等で保育する。

2 事業内容

- ・指導員は、おおむね児童25名までは2名とする。
- ・長期休暇時は、6箇所(白石小・北明小・六角小・福富小・有明東小・有明南小)のクラブで7時40分~18時まで実施する。
- ・土曜日は、1箇所(六角小)で7時40分~18時まで実施する。

★放課後子どもプラン事業(放課後児童健全育成事業)

白石小・六角小・北明小・福富小
有明東小・有明西小・有明南小 16,373,000円

★小規模放課後児童クラブ事業(放課後児童健全育成事業)

須古小 530,000円

区分	負担金の額(児童一人につき)	減免の場合	減免率
継続参加	月額 2,000円(土曜日参加は月額3,000円)	・ひとり親家庭の場合	1/2
	夏季休業期間 4,000円(土曜日参加は5,000円)	・生活保護法による被保護世帯である場合	10/10
一時参加	夏季休業期間 5,000円(土曜日参加は6,000円)	・被災世帯である場合	10/10
	冬季休業期間 2,000円	・その他特別な事由があると認められた場合	10/10
	学年末休業日から学年始めの休業日期间2,000円	・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の二人目児童	1/2

★放課後児童クラブ整備費補助金 5,148,000円

3 予算額 51,911千円

クラブ名	白石小	六角小	須古小	北明小	福富小	有明東小	有明西小	有明南小	合計
賃 金	3,706,000	3,286,000	1,871,000	4,431,500	5,157,000	4,431,500	3,066,000	2,796,500	28,745,500
旅 費	6,100			6,100	6,100				18,300
需 要 費	83,000	297,416	73,000	87,000	906,472	85,000	83,000	63,000	1,677,888
役 務 費	5,000	14,320	10,000	15,000	58,000	10,000	10,000	10,000	132,320
委 託 料		58,752			60,000		1,900,000		2,018,752
工 事 請 負			4,000,000				15,076,000		19,076,000
備 品 購 入	100,000	8,000			116,000	8,000	8,000		240,000
計	3,900,100	3,664,488	5,954,000	4,539,600	6,303,572	4,534,500	20,143,000	2,869,500	51,908,760

クラブ名	児童数 (人)					土曜日	長期
	1年生	2年生	3年生	合計			
白石小	14	12	10	36		5	32
六角小	12	6	7	25		9	23
須古小	1	4	2	7		0	5
北明小	4	13	6	23		0	21
福富小	15	17	13	45		9	36
有明東小	15	12	9	36		2	33
有明西小	6	1	10	17		3	14
有明南小	7	1	6	14		2	13
合 計	74	66	63	203		30	177

4 事業の効果

子ども達の健全育成を図ることができる。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	母子健康診査事業					所属	保健福祉課	
目 名 称		保健衛生総務費					財源内訳					予算書頁		
目 の 予 算 額		185,418												
予 算 額		19,688 千円				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	96～99			
		前年度当初 20,960 前年度最終 17,805							170	19,518	継 続			
白石町総合計画 人と大地がうるおい輝く豊穡のまち				基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 3 節		保健・医療体制の充実		
1 目 的														
妊婦・乳幼児の身体と精神の疾病異常の早期発見、早期治療を図るとともに経済的負担の軽減に努め、身体、精神の健全な発達支援を行う。														
2 事業概要														
①妊婦健康診査票は、1人14枚交付する。（委託単価 14枚 98,370円） 妊婦健康診査は、妊娠初期～妊娠23週まで(6か月末):1回／4週、妊娠24週～35週まで(9か月末):1回／2週、妊娠36週～:1回／1週 受診														
②集団健診:乳児健康診査(4～5か月児健診)、1歳6か月児健康診査(1歳7～8か月児)、3歳6か月児健康診査(3歳7～8か月児)を実施														
③個別健診(医療機関・小児科):乳児健康診査(9か月頃)を実施（委託単価 5,400円）														
3 予 算 額														
節		説 明				予算額(千円)								
賃 金		看護師・歯科衛生士雇上				660								
報 償 費		小児科医・歯科医・耳鼻科医謝礼				919								
需 用 費		消耗品費等				156								
役 務 費		通信費・審査支払手数料等				317								
委 託 料		健康診査委託料				17,479								
扶 助 費		妊婦健診扶助費(償還払)				157								
		合 計				19,688								
財源内訳:各健診の歯科検診、フッ化物塗布については、国保二種交付金の対象 170千円														
4 事業効果														
妊婦・乳児健康診査票の交付により、医療機関での専門的な健康診査を受けることによって疾病の早期発見・早期治療で重症化防止となる。 また、乳幼児健康診査によって、身体・精神の健全な発育、発達の保持増進につながる。														

区分		平成26年度 当初			会計		一般会計			単位:千円					
款	4	項	1	目	2	細事業名		予防接種事業			所属		保健福祉課		
目 名 称		予防費													
目 の 予 算 額		91,222						財源内訳							
予 算 額		62,676				国庫		県費		地方債		その他		一般財源	
								501						62,175	
		前年度当初		65,620		前年度最終		58,534						99・100	
														継 続	
白石町総合計画				基本構想		基本計画				保健・医療体制の充実					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章		第 3 節									
健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】															
1 目 的 感染症の蔓延を予防し、公衆衛生の向上を図る。															
2 事業概要															
① 予防接種法による定期予防接種及び定期外予防接種を実施する。															
② 実施方法は、広域実施医療機関での個別接種とする。															
③ 対象者:乳幼児、小中高学生及び65歳以上の高齢者。															
※日本脳炎予防接種は平成22年度から積極的勧奨が再開され平成26年度は、9歳～11歳、高校3年生に対し勧奨予定															
※平成25年4月から子宮頸がん予防接種、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種は定期の予防接種として実施しているが、子宮頸ガン予防接種は平成25年6月14日より積極的勧奨を控えている。															
※平成25年7月から妊婦の風しん感染リスクを下げ、先天性風しん症候群の発生予防のため、妊娠を希望する女性や妊婦の同居者に対し風しん予防接種助成事業を実施															
(県:1/2補助)															
※0才～中学3年生までのインフルエンザワクチン接種は医療機関で実施し、1人2,000円を助成する。(定期外)															
3 予算額															
節		説 明				予算額(千円)									
報 酬		委員報酬				40									
旅 費		費用弁償				4									
需 用 費		消耗品費				82									
役 務 費		通信費・審査支払手数料				1,180									
委 託 料		その他委託料				61,170									
扶 助 費		扶助費				200									
		合 計				62,676									
財源内訳: 佐賀県妊娠安心風しん予防接種事業費補助金 501千円															
4 事業効果															
免疫効果を上げることにより、感染予防に努めることができる。															

(定期の予防接種を行う疾病及びその対象者と接種回数)

ワクチン名	対 象 者 (回数)
百日せき	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者 (4回)
ジフテリア	3種混合
破傷風	
ポリオ	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者 (4回)
百日せき ジフテリア 破傷風 ポリオ	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者 (4回)
4種混合	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者 (4回)
麻しん・風しん	生後12月から生後24月に至るまでの間にある者 (1回)
(MR)	5歳以上7歳未満の者で、小学校就学1年前から当該始期に達する前日までの者(1回)
日本脳炎	生後6月から生後90月に至るまでの間にある者 (3回)
	9歳以上13歳未満の者(1回)
	4歳以上20歳未満のもの(積極的勧奨差し控え者)
BCG	生後1歳に至るまでの間にある者 (1回)
ヒブ	生後2か月～5歳未満 (4回・3回・1回)
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満 (4回～1回)
子宮頸がん	小学6年～高校1年 (3回)
インフルエンザ	65歳以上の者 (毎年度1回)
	60歳以上65歳未満の者であって、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省令で定めるもの (毎年度1回)

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業費				所属	長寿社会課	
目 名 称		老人福祉費											
目 の 予 算 額		1,169,512				財 源 内 訳							予算書頁
予 算 額		21,078				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	82・85		
								5,000		16,078	継 続		
		前年度当初	19,485	前年度最終	18,889								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実			
1 目的 長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。													
2 事業内容 ・地域で行われる、高齢者の長寿を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。 ・長寿祝金、敬老記念品を贈呈する。													
		敬老記念品				長寿祝金							
対象者		喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)及び男女の最高齢者				満80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳以上の者							
敬老記念品額		喜寿	3,000円	米寿	3,000円	80 歳	10,000円	85 歳	15,000円				
及び		白寿	3,000円	最高齢	5,000円	90 歳	20,000円	95 歳	30,000円				
長寿祝金額						100歳以上	50,000円						
支給日及び方法		9月16日から9月末(商品券、郵送)				9月末(現金、口座振込)							
3 予算額													
報償費				需用費		役務費		補助金		扶助費			
敬老記念品						通信運搬費		地域敬老事業助成金		長寿祝金			
喜寿	3,000 円 ×	323 人	969,000	消耗品費			1,200 円 ×	4,841 人	5,809,200	80才	10,000 円 ×	284 人	2,840,000
米寿	3,000 円 ×	187 人	561,000	生花	4,000					85才	15,000 円 ×	241 人	3,615,000
白寿	3,000 円 ×	10 人	30,000	消耗品	50,000					90才	20,000 円 ×	170 人	3,400,000
最高齢	5,000 円 ×	2 人	10,000	印刷費						95才	30,000 円 ×	41 人	1,230,000
				封筒	22,000					100歳以上	50,000 円 ×	44 人	2,200,000
			1,570,000		76,000	337,000		5,810,000					13,285,000
4 事業の効果 地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。													

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域サロンモデル事業			所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費										
目の予算額	1,169,512					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	364					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
										364	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実		

1 目的

地域の高齢者をはじめとした住民が、歩いて行ける場所に主体的に集まり、交流し活動することで、高齢者の社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上を図るためにモデル的に事業を実施する。

2 事業内容

【委託先】 白石町社会福祉協議会

【対象者】 地域の高齢者及び地域住民

【実施施設】 地域の集会所

【事業内容】 モデル事業として、町内3カ所の地域で健康体操を軸としたサロンを月2回開催する。

【実施期間】 H26. 7～H26. 12

3 予算額 (単位:円)

予算科目	予 算 額	積算内訳
13 委託料	364,000	右表のとおり

委託料内訳

項 目	積 算
賃金	800円×4時間×43回×2人=275,200円
傷害保険料	28円×25人×12回×3カ所=25,200円
事務用品等	6,000円×3カ所=18,000円
運営支援費	100円×25人×6月×3カ所=45,000円
計	363,400円

4 事業の効果

地域で、その地域の住民が主体となって事業を実施することで住民の関心が高まり、高齢者の心身の健康はもとより、地域コミュニティの活性化にもつながる。

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款		3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費			所属	長寿社会課
目 名 称		障害者福祉費										
目 の 予 算 額		636,711						財 源 内 訳			予算書頁	
予 算 額		466,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	78～80
							232,188	116,094			117,818	継 続
		前年度当初	435,214	前年度最終	443,077							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実		
1 目的 障害者の社会参加の機会確保と共生社会に資するため、日常生活及び社会生活を総合的(介護給付・訓練等給付)に支援する。												
2 事業内容 障害者がサービス提供事業所と契約し、支給決定サービス量に応じた支援を受ける。 在宅者の支援において、デイケアや相談支援の機会を提供する。 ○入所系支援(施設入所支援、生活介護支援、療養介護等)												

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計	単位:千円					
款	3	項	1	目	2	細事業名	相談支援事業費				所属	長寿社会課
目 名 称		障害者福祉費										
目 の 予 算 額		636,711				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	8,240 前年度当初 6,977 前年度最終 6,977					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	78	
										8,240	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------------

1 目的

障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助を行う。

2 事業内容

【白石町相談支援事業実施要綱】

- 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つで、市町村の必須事業である。
- 障害のある人、保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供及び助言等や権利擁護のために必要な援助を、相談支援事業の研修を受けた相談支援専門員が対応する。
- 相談支援事業は、24時間365日対応とし、社会福祉法人に委託して実施する。
- 白石町・江北町との共同により設置し、経費については、均等割20%、人口割80%で按分
- 相談事案の複雑化、支援期間の長期化に対応するため、また、個別訪問等によりセンターが無人となり、来所相談に十分対応できていないため、平成26年度より1名増員する。

3 予算額

13 委託料

障害者相談支援事業委託費【交付税対象】

- | | |
|-------------|------------------------|
| ○ 相談支援委託事業者 | 社会福祉法人たちばな会(県指定相談事業者) |
| ○ 経費配分 | 均等割(20%)及び人口割(80%)にて算定 |
| ○ 事業費 | 平成23年度 10,797,383円 内白 |

平成23年度	10,797,383円	内白石町負担分	7,451,000円
平成24年度	10,949,651円	内白石町負担分	7,483,000円
平成25年度	10,210,300円	内白石町負担分	6,976,494円
平成26年度見込額	12,059,276円	内白石町負担分	8,239,862円

当初予算額 8,240 千円

4 事業の効果

障害者やその家族からの相談に対し、より専門的な助言、支援ができるほか、24時間365日の対応が可能であり、きめ細かな対応ができる。

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	剪定枝等樹木粉碎機整備事業			所属	生活環境課
目 名 称	塵芥処理費										
目の予算額	287,568					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	1,215					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103
	前年度当初 0 前年度最終 0								1,200	15	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり		

1 目的

庭木剪定くずなどの廃棄物の焼却(野焼き)により排出されるダイオキシン類の発生を減少させ、剪定くずなどのリサイクルを推進することを目的とする。

なお、当該事業の財源の一部は、ふるさと寄付金を充当し、自然環境と共生するまちづくりに貢献します。

2 事業内容

平成20年度に整備した現有の樹木粉碎機の耐用年数を経過するため、同等品の買い替えを行う。
整備した粉碎機は広く住民への貸し出しを行い、剪定枝葉チップの再利用を推進する。

3 予算額

節	品 名	仕様等	金 額
備品購入費	可動式樹木粉碎機	最大出力 14馬力 最大処理能力 2.8m ³ /h 最大処理口径 125mm	1,215

4 事業の効果

家庭から発生する剪定クズを排出者自信で適正に処理することにより、ごみの減量化や野焼きの減少が図れる。

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	2	目	2	細事業名	ごみ処理センター負担金 (西部広域環境組合負担金)				所属	生活環境課
目 名 称		塵芥処理費										
目の予算額		287,568				財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額		89,857				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103	
										89,857	継 続	
		前年度当初	43,079	前年度最終	43,079							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】				基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進		

- 1 目的
佐賀県ごみ処理広域化計画に基づき、県西部地区(9市町)において新たなごみ処理施設を整備し、広域組合において一般廃棄物の長期・安定的かつ効率的な適正処理事業を行う。

- 2 事業内容
発電設備を有する「エネルギー回収推進施設」と、不燃・粗大ごみを処理する「マテリアルリサイクル推進施設」を整備し、平成28年1月の供用開始を目指す。

○エネルギー回収推進施設

処理能力	205t/24h (102.5t/24h×2炉)
処理方式	ガス化溶融方式(シャフト炉式)
焼却設備	旋回燃焼方式
余熱利用設備	蒸気タービン発電 [3,900kw/日]
溶融物処理設備	水冷方式(再生物:メタル、スラグ)

○マテリアルリサイクル推進施設

処理能力	22t/5h
破碎設備	前処理破碎機、高速回転破碎機
選別設備	磁選機、アルミ選別機、風力選別機
貯留・搬出設備	鉄類・アルミパンカ、残渣搬出コンベア

○施設整備工程表(予定)

		平成25年度					平成26年度												平成27年度													
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
全体工程	← エネルギー回収推進施設建設工事 →																															竣工 供用開始
	← マテリアルリサイクル推進施設 →																															
	← 管理棟および付属棟 →																															
	← 外溝工事 →																															

※エネルギー回収推進施設及びマテリアルリサイクル推進施設の工事期間には、プラントの試験運転期間を含む。

3 予算額

節	適用	金額
負担金補助 及び交付金	総務・議会費負担金 (均等割15%、人口割85%)	3,670
	事業費負担金 (均等割10%、人口割90%)	85,387
	環境行政先進地視察研修費	800
計		89,857

【参考: H26~H31負担金試算】

	負担割合	H26	H27	H28	H29	H30	H31
白石町	10.68%	89,857	106,400	106,300	103,600	110,400	160,900
9市町総額	100.00%	840,927	996,400	995,100	970,400	1,033,400	1,506,500

※H28以降の負担金試算については、運営経費等が未確定なため、メーカー提案額を参考に仮設定したものと予算ベースの起債償還額を合計して算出し、H25の負担割合で按分したものである。

4 事業の効果

一般廃棄物の処理施設を広域で運営することにより、計画的かつ適正に処理することができ、併せて最終処分物の削減により環境負荷の低減が図れる。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円																								
款	4	項	3	目	1	細事業名	上水道一部事務組合への出資事業			所属	水道課																					
目 名 称		上水道費																														
目の予算額		100,697				財 源 内 訳					予算書頁																					
予 算 額	18,209				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104																						
									18,209	継 続																						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実																							
1 目的 上水道一部事務組合の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、一般会計から適切な繰出しを行う。																																
2 事業内容 【佐賀西部広域水道企業団】 ○水道水源開発・広域化対策に係る平成元年度以前の企業団借入分の元利償還に対する繰出金 ○企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金 【西佐賀水道企業団】 ○企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金																																
3 予算額 <table><tr><td>西佐賀水道企業団繰出金</td><td colspan="4">佐賀西部広域水道企業団繰出金</td><td colspan="2" rowspan="3">合 計</td></tr><tr><td rowspan="2">児童手当分</td><td rowspan="2">児童手当分</td><td colspan="3">水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金</td></tr><tr><td>償還元金分</td><td>償還利息分</td><td>小 計</td></tr><tr><td>33</td><td>11</td><td>17,099</td><td>1,066</td><td>18,165</td><td>18,209</td></tr></table>												西佐賀水道企業団繰出金	佐賀西部広域水道企業団繰出金				合 計		児童手当分	児童手当分	水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金			償還元金分	償還利息分	小 計	33	11	17,099	1,066	18,165	18,209
西佐賀水道企業団繰出金	佐賀西部広域水道企業団繰出金				合 計																											
児童手当分	児童手当分	水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金																														
		償還元金分	償還利息分	小 計																												
33	11	17,099	1,066	18,165	18,209																											
【繰出基準】 元利償還分 昭和61年度から平成元年度までの事業費に係る国庫補助対象事業費の7/30相当額の償還元利金に相当する額 児童手当分 地方公営企業職員に係る児童手当の給付に要する経費の合計額。 ア 3歳に満たない児童に係る給付に要する経費(ウに掲げる経費を除く。)の15分の8 イ 3歳以上中学校修了前の児童に係る給付に要する経費(ウに掲げる経費を除く。) ウ 児童手当法附則第2条に規定する給付に要する経費																																
4 事業の効果 上水道一部事務組合の円滑な運営及び経営健全化に資することにより上水道の安定した供給体制を維持する。																																

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円			
款	4	項	3	目	1	細事業名	水道事業会計への補助金				所属	水道課	
目 名 称		上水道費											
目の予算額		100,697				財 源 内 訳				予算書頁			
予 算 額		82,488 前年度当初 80,403 前年度最終 80,403				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104		
										82,488	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実		

1 目的

町上水道事業会計の円滑な事業運営に資するため、必要な給水量確保や施設整備に係る経費等について、一般会計からの適切な繰出し及び補助を行う。

2 事業内容

○上水道高料金対策補助金（自然条件等により建設改良費が割高のため資本費が高額となり、高水準の料金設定をせざるを得ない上水道事業について、料金格差の縮小に資するための補助）

○統合簡水償還補助金 (統合簡水に係る統合前の建設改良事業のために発行された企業債の元利償還金の一部に対する補助)

3 予算額

○上水道高料金対策補助金 $(199.68 - 164) \times 1,684,186 = 60,091,756$ 円 小計 60,092千円
(資本費－基準資本費)×年間有収水量

○ 統合簡水償還補助金	元金	32,246,527	÷	2	16,123,264円				
	利子	12,543,525	÷	2	6,271,763円	小計	22,396千円	合計	82,488千円

4 事業の効果

町上水道事業会計の円滑な運営及び経営健全化に資することにより、上水道の安定した供給体制を維持することができる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円			
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業			所属 下水道課
目 名 称	下水道費						財 源 内 訳			予算書頁
目 の 予 算 額	392,377						国庫	県費	地方債	その他 一般財源
予 算 額	63,849						7,511	12,311		44,027
	前年度当初	64,456	前年度最終	61,597						

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	
-------------------------------	--	--	--	---------------	------------------------	--	--	---------------	---------	--

1 目的

公共用水路の水質汚濁の原因の一つに、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水の問題がある。水質汚濁を防止するために、家庭内において設置される浄化槽の経費の一部を助成することにより生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業内容

浄化槽設置事業により、50人槽以下の浄化槽を90基の整備を行う。

(単位:基、千円)

(単位:千円)

区 分	基数	国基準単価	町上乗せ単価	補助単価額	補助金額
5人槽	12	332	268	600	7,200
6人～7人槽	76	414	306	720	54,720
8人～10人槽	1	548	372	920	920
11人～20人槽	1	939	0	939	939
21人～30人槽	0	1,472	0	1,472	0
31人～50人槽	0	2,037	0	2,037	0
計	90				63,779

左の財源内訳			
国	県	町	計
7,511	12,311	43,957	63,779

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要
19	負担金補助及び交付金	浄化槽普及促進協議会会費	20	佐賀県浄化槽普及促進協議会
		浄化槽普及促進協議会負担金	50	前年度汚水処理施設整備交付金(国庫)×4/1,000 12,448千円×4/1,000
		浄化槽設置整備事業補助金	63,779	
		計	63,849	

4 事業の効果

浄化槽設置事業を実施することにより、公共用水域の水質保全が保たれる。

区分		平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	4	目	1	細事業名	特定環境保全公共下水道(計画策定経費)			所属	下水道課		
目 名 称		下水道費											
目 の 予 算 額		392,377					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		20,068				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	105		
										20,068	新 規		
		前年度当初	0	前年度最終	0								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実				

1 目的

生活水準の向上と産業活動の進展に伴い、家庭・産業排水による汚濁が住みよい生活環境を阻害する状況になりつつあるが、特定環境保全公共下水道事業の円滑な事業推進により、生活環境の改善、水質保全を図り快適な住環境を創造するため。

2 事業内容

・【白石町基本構想及び全体計画見直し業務】

下水道未普及地域の早期解消に向けた取り組みをアクションプランとして策定する必要があり、各種関連計画（白石町総合計画、財政計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画、農業振興地域整備計画、流域別下水道整備総合計画、生活排水処理基本計画等）と整合性を図り作成するものである。

・【特定環境保全公共下水道事業計画変更図書作成業務】

第2期事業計画へ着手するため、下水道法第4条第6項及び都市計画法第60条の規定による事業計画変更に必要な関係書類、図書等を作成するものである。

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要
13	委託料	その他委託料	20,068	白石町基本構想及び全体計画見直し業務 9,386千円
				特定環境保全公共下水道事業計画変更図書作成業務 10,682千円
計			20,068	

4 事業の効果

事業を実施することにより、特定環境保全公共下水道事業の円滑な運営を図ることができる。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円			
款	4	項	4	目	1	細事業名	公共下水道等接続促進事業			所属	下水道課
目 名 称		下水道費									
目 の 予 算 額		392,377				財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額		12,150 前年度当初 0 前年度最終 4,200				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	106
										12,150	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		
1 目的 特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設の供用開始後3年以内に行う受益者の排水設備工事に助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全の早期実現を可能とする。また、経営安定化を早期に目指す。											
2 事業内容 助成条件 ○ 家庭からの生活排水を下水道等に流入させるための宅地内排水管や汚水樹などの供用開始後3年以内に完了する排水設備工事を対象 対象住宅：自ら所有し居住する住宅(新築住宅を除く) 対象工事：白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事 助成額 ○ 補助率：対象工事費×10%											

単位:千円

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円			
款	2	項	1	目	8	細事業名	有明佐賀空港夜間貨物便基金畜産振興事業				所属	産業課	
目 名 称		地域づくり推進費											
目 の 予 算 額		36,414				財 源 内 訳				予算書頁			
予 算 額		1,743 前年度当初 2,000 前年度最終 2,000				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59		
									1,743	0	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

有明佐賀空港の夜間貨物便運行に伴い、環境保全及び地域振興を図るため、白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金を活用して、農業者が組織する団体等が行う必要な事業を実施する。

2 事業内容

高品質で安全安心な畜産物の生産拡大及び白石町畜産物の銘柄確立を図るため、肥育経営強化対策事業、繁殖経営基盤強化対策事業及び繁殖成績向上対策事業を実施し、畜産農家の経営改善と地域振興に寄与する。

肥育経営強化対策事業	肉質改善に係る血液検査及び飼料成分分析 販売対策に係るマーケティング強化対策
繁殖経営基盤強化対策事業	繁殖受胎率向上対策に係るビタミン剤投与 優良牛生産促進対策に係る優良種牛凍結精液導入
繁殖成績向上対策事業	繁殖成績向上対策に係るホルモン剤投与

補助率 対象経費の80%以内

事業実施主体

- ・白石地区肥育部会
- ・白石地区和牛改良組合
- ・白石地区酪農部会

3 予算額

19節 負担金、補助及び交付金 (千円)

有明佐賀空港夜間貨物便基金畜産振興事業費補助金	1,743
-------------------------	-------

4 事業の効果

基金を活用することによって、町内の畜産事業の振興を図ることができる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円								
款	2	項	1	目	8	細事業名	有明佐賀空港夜間貨物便基金PRイベント事業			所属	産業課				
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳				予算書頁					
目 の 予 算 額	36,414						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59			
予 算 額	2,000								2,000	0	継 続				
	前年度当初 2,000 前年度最終 2,000														
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】				基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出					
1 目的 白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金を活用し、地域の魅力を生かしたPRイベントなどの費用の一部を助成することにより、元気な取り組みへの支援を行い、新たな地域活力の創出につながることを目的とする。 2 事業内容 【対象団体】 3地域の産物直売所、農協、漁協、商工会 【対象事業】 ・それぞれの団体が取り組む白石町を広くPRできる事業 ・3地域の産物直売所が町の特産品や、加工品などをPRそれぞれの団体が取り組む白石町を広くPRする事業 但し、直売所を除き、白石町全体で取り組むものに限る。 また、白石町内で開催されるもので、町への集客を図り特産物等をPRするものであること。 【補助内容】 ・事業費の内、対象とされる費用の80%を補助する。 但し、1事業につき20万円を限度とし、1団体において年間4イベントまでとする。 ※この補助事業は、平成25年度～平成27年度までの3年間実施する。 ●25年度事業 白石特産物直売所(創業祭・新米まつり) 福富産物直売所(たまねぎ祭り、スイートコーン祭、れんこん収穫祭り、創業祭) 菜海ありあけ(創業祭) 白石町商工会(グルメマップ) JAさが白石地区中央支所(白石特産物広告塔) 3 予算額 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金PRイベント事業費補助金</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> 4 事業の効果 基金を活用し、白石町の特産物等を広くPRすることによって、新たな地域活力の創出に寄与できる。												(千円)		白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金PRイベント事業費補助金	2,000
(千円)															
白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金PRイベント事業費補助金	2,000														

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	農業振興地域整備計画費				所属	産業課
目 名 称		農業振興費										
目の予算額		134,212				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		2,804				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113	
		前年度当初 3,791 前年度最終 3,791								2,804	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 目的

総合的に農業振興を図ることが必要な農業振興地域において基礎調査を行い、土地利用状況を十分把握することにより、本町の農業振興地域として相応しいマスタープラン及び土地利用計画を含めた農業振興地域整備計画を策定するとともに、既存の統合型GISへ実装し、今後の農用地の管理を効率化する。

2 事業内容

農業振興地域整備計画の総合見直しに必要となる業務を委託

- 平成24年度 (1) 農用地区域データ作成
(2) 白地地域データ作成
(3) 現況土地利用図作成
(4) 農用地面積集計

- 平成25年度 (1)土地利用変更説明図、説明書作成
(2)農業振興地域整備計画書、付図作成

- 平成26年度 (1) GIS環境設定、データセットアップ

3 予算額

農業振興地域整備計画書策定業務委託 2,804 千円

平成24年度 3,381,000円

平成25年度 3,790,500円

4 事業の効果

優良農地を確保・保全しながら、農業振興のための各種施策を計画的に実施することで本町農業の総合的な振興を図ることができる。

区分		平成26年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	直接支払推進事業			所属	産業課	
目 名 称		米政策対策費										
目 の 予 算 額		15,609			財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	9,984				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114		
	前年度当初		9,959 前年度最終		10,143		8,893		1,091	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
1 目的 農業再生協議会を中心に、経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図るとともに、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等の取り組みを促進する。												
2 事業内容 白石町農業再生協議会が行う次に掲げる業務への助成 協議会の主な業務 (1) 米の直接支払交付金の推進 (2) 畑作物の直接支払交付金の推進 (3) 水田活用の直接支払交付金の推進 (4) 再生利用交付金の推進 (5) 対象作物の生産数量目標の設定 (6) 集落営農の法人化支援 (7) 担い手の育成・確保 (8) 耕作放棄地の再生利用												
3 予算額 ・直接支払推進事業費補助金 9,984千円(事業主体:白石町農業再生協議会) 【積算基礎】												
区 分		金 額		左のうち補助事業分		説 明						
委員報償		389		389		協議会等委員報償費						
旅費		3		3		費用弁償						
事務等経費		2,682		2,612		消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃借料						
賃金		1,683		1,683		日々雇用職員賃金						
委託料		4,555		4,206		申請書類等の配布、回収・転作確認事務委託、農地情報システム管理業務委託						
助成金		672		0		担い手育成						
合 計		9,984		8,893								
4 事業の効果 米の需給調整、転作作物の定着を推進し地域農業の基幹となる水田農業の健全な発展につながる。 地域の実情に応じた集落営農組織の経営発展が図られる。												

単位:千円

区分		平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規就農・経営継承総合支援事業				所属	産業課
目 名 称		農業総務費										
目 の 予 算 額		118,441					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額		16,530				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111・112	
							16,500			30	継 続	
		前年度当初	15,030	前年度最終	7,155							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農総合支援事業を推進する。

2 事業内容

○青年就農給付金(経営開始型)

- ・人・農地プランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者(単なる親元就農は対象外)について、年間150万円を給付する。
- ・平成26年度以降就農者には、最長5年間給付。(所得が250万円以上ある場合は給付しない)
- ・平成22年度～25年度に就農した者(既就農者)についても、平成26年度以降最長4年間は150万円を給付する。

3 予算額

単位:円

区 分	内 容	予 算 額
11. 需用費	事務用消耗品(一般財源)	30,000
19.負担金、補助及び交付金	青年就農給付金(経営開始型)	16,500,000

4 事業の効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

区分		平成26年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費補助金			所属	産業課	
目 名 称		農業振興費										
目 の 予 算 額		134,212										
予 算 額		1,000				財 源 内 訳					予算書頁	
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114	
										1,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
1 目的 近年、カラスやカモなどの生息分布域の拡大に伴い、農作物の食害による被害が深刻化している。また、タヌキやイタチによりタマネギ・イチゴなどの苗床が荒らされるケースも多発しており、緊急な対策が必要となっている。 このため、有害鳥獣による被害を防止するための対策用具の設置を促進することにより、被害の軽減を図る。 2 事業内容 ・被害防止対策用具を設置する場合に、設置資材費用の1／2を補助する。 ・補助上限25, 000円 ・他団体による補助がある場合は、総事業費から当該補助金を差し引いた額の1／2を補助する。 3 予算額 上限25, 000円×40件＝1, 000, 000円 4 事業の効果 上記事業を行うことにより、農作物被害の防止を図ることができる。												

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円			
款	6	項	1	目	3	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業			所属	産業課
目 名 称		農業振興費									
目の予算額		134,212				財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	82,626 前年度当初 66,389 前年度最終 62,013					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113
							64,437			18,189	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などの推進及び新規就農者等を育成することにより、収益性の高い園芸農業を確立する。

2 事業内容

- 実施期間 平成26年度～30年度(5年間) ○補助率 原則 県1/3以内、町1/10以上
○実施主体 農業者が組織する団体等

3 予算額

【19節 負担金、補助及び交付金】

区分	事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	対象事業費 (千円)	財源内訳			備考
							県補助金	町費	事業主体	
施設園芸	猛暑対応ハウス	アスパラガス、小ネギ	4	80	7,960㎡	53,808	17,935	5,382	30,491	
	脱石油・省石油対応ハウス	いちご	1	10	1,000㎡	20,952	10,476	2,096	8,380	新規就農
	多層被覆装置(2重カーテン)	いちご	11	162	16,276㎡	10,857	3,619	1,086	6,152	
	循環扇、ヒートポンプ、放熱フィン	いちご、花き	11	238	54台、2台、4台	9,093	3,029	911	5,153	
	園芸ハウスの長寿命化対策	いちご	5	89	9,072㎡	5,428	1,809	543	3,076	
	光選択性被覆資材	アスパラガス	2	29	2,938㎡	3,333	1,111	334	1,888	
	光合成促進装置、環境測定装置	きゅうり	2	38	各1台	1,141	379	115	647	
露地園芸	収穫機	たまねぎ、キャベツ	64	7,695	19台	29,711	10,183	2,978	16,550	新規就農1件
	定植機	たまねぎ、キャベツ	33	6,745	15台	26,719	8,902	2,675	15,142	
	播種機	たまねぎ、キャベツ他	493	5,473	4台	10,653	3,550	1,067	6,036	
	除湿乾燥システム	たまねぎ	13	2,583	5台	5,790	1,927	580	3,283	
	包装機、選別・調製機	キャベツ	2	1,000	各1台	2,836	945	284	1,607	
	省力防除機	たまねぎ	1	220	1台	711	355	72	284	新規就農
	野菜運搬車	キャベツ	2	220	1台	651	217	66	368	
合 計 (事業主体数 46)		-	644	24,582	-	181,683	64,437	18,189	99,057	

予算額(県費+町費)=	82,626
-------------	--------

4 事業の効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																																												
款	6	項	1	目	3	細事業名	産地競争力強化事業(強い農業づくり交付金)			所属	産業課																																								
目 名 称	農業振興費																																																		
目の予算額	134,212					財 源 内 訳				予算書頁																																									
予 算 額	27,785					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113																																								
	前年度当初 2,980 前年度最終 0						27,785			0	継 続																																								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																																									
1 目的 本町は、全国的なたまねぎの供給産地として、早生種から中晩生種まで安定した出荷が望まれている。しかしながら、近年、高齢化等により、吊り玉作業を必要とする中晩生種から比較的省力で済む早生種への転換が進む傾向にあり、また、生産者における玉葱小屋での貯蔵保管は、夏場の高温による品質低下を招くこともあり、コンテナによる予措(低温貯蔵)が急務となっている。また、本町は九州屈指のレンコン産地でもあり、九州市場を中心に販売が行われているが、最近は関東からの需要が伸びており、作付面積も増加傾向にある。しかしながら、作業面で大きなウェートを占める出荷調整・箱詰めについては、従来より家内労力に頼られてきたが、近年、高齢化等により作業者の減少がみられており、この補完が課題となっている。以上から、本事業による共同利用施設の整備を行い、作業の省力化・効率化を図り、たまねぎ及びレンコンの安定供給及び余剰労力の確保による生産拡大を図る。 2 事業内容 ①たまねぎ予措保管施設の整備 ②レンコン共同選果施設の整備 ○ 事業実施主体 佐賀県農業協同組合 ○ 交付率 国 1/2以内 3 予算額 【19節 負担金、補助及び交付金】 (単位:千円) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>受益地区</th> <th>処理量</th> <th>受益戸数 (戸)</th> <th>受益面積 (ha)</th> <th>事業量</th> <th>総事業費</th> <th>うち補助対象事業費①</th> <th>国交付金 ①×1/2</th> <th>実施予定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①たまねぎ予措保管施設</td> <td>福富</td> <td>650t/年</td> <td>80</td> <td>76.3</td> <td>一式</td> <td>44,000</td> <td>32,180</td> <td>16,090</td> <td>ふくどみマイランド公園東側 (八平低温倉庫の機能アップ)</td> </tr> <tr> <td>②レンコン共同選果施設</td> <td>白石、福富、有明</td> <td>400t/年</td> <td>50</td> <td>32.0</td> <td>一式</td> <td>37,108</td> <td>23,390</td> <td>11,695</td> <td>福富オニオンセンター敷地内 (新設)</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">合 計</td> <td>81,108</td> <td>55,570</td> <td>27,785</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 4 事業の効果 玉葱及び蓮根の主要産地として、作業の省力化及び合理化による安定的な出荷を目指し、産地の競争力を向上させることにより、農業経営の安定に資する。												事業内容	受益地区	処理量	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量	総事業費	うち補助対象事業費①	国交付金 ①×1/2	実施予定箇所	①たまねぎ予措保管施設	福富	650t/年	80	76.3	一式	44,000	32,180	16,090	ふくどみマイランド公園東側 (八平低温倉庫の機能アップ)	②レンコン共同選果施設	白石、福富、有明	400t/年	50	32.0	一式	37,108	23,390	11,695	福富オニオンセンター敷地内 (新設)	合 計						81,108	55,570	27,785	
事業内容	受益地区	処理量	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量	総事業費	うち補助対象事業費①	国交付金 ①×1/2	実施予定箇所																																										
①たまねぎ予措保管施設	福富	650t/年	80	76.3	一式	44,000	32,180	16,090	ふくどみマイランド公園東側 (八平低温倉庫の機能アップ)																																										
②レンコン共同選果施設	白石、福富、有明	400t/年	50	32.0	一式	37,108	23,390	11,695	福富オニオンセンター敷地内 (新設)																																										
合 計						81,108	55,570	27,785																																											

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	6	細事業名	県産自給飼料増産対策事業補助金			所属	産業課	
目 名 称		畜産業費										
目 の 予 算 額		3,075					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額		1,588				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115	
		前年度当初		4,116		前年度最終		4,116		1,221		367
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

- 1 目的
消費者が求める高品質で、安全・安心な畜産物の生産拡大により、佐賀産畜産物の銘柄を確立する。

- 2 事業内容
○ 効率的な飼料生産・流通体制の整備を図るために必要な栽培、収穫及び調整用機械の整備に対して助成する。

- 事業主体 2戸以上の営農集団及び農業協同組合
○ 補助率 県 1/3以内 町 1/10以上 (事業費450万円上限)

3 予算額

単位 千円

事業内容	事業量	事業費	対象事業費	事業費の財源内訳			
				県補助金	町補助金	補助金合計	事業主体
ホイルローダ (ベールグラブ付)	1台	3,959	3,665	1,221	367	1,588	2,371
合 計	1台	3,959	3,665	1,221	367	1,588	2,371

事業実施主体: 福吉自給飼料生産組合

- 4 事業の効果
飼料生産流通体制整備を図るための機械等の経費の一部を補助することにより、安全・安心な畜産物の生産拡大を図ることができる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円			
款	7	項	1	目	1	細事業名	まちの元気づくりプロジェクト支援事業		所属	産業課
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳	予算書頁			
目 の 予 算 額	105,319					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
予 算 額	1,200									1,200
	前年度当初	1,200	前年度最終	1,200						継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 2 節	商工業の振興	

1 目的

町内商店街の中心である秀津商店街を核とし、地域活性化を図るため、白石町商工会が取り組んでいる「まちの元気づくりプロジェクト」事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。町民の世代間交流・文化・教養等の多様な活動の拠点として26年2月に新設されたふれあいプラザ“元気のだまご”を地域コミュニティづくりの拠点と位置づけ、同時に商店街活性化と商工業の振興及び地域振興に資すると同時に、防犯カメラの設置と緊急時の放送設備と緊急避難場所の提供及び街路灯のLED化事業により町の安心・安全の確保に努める。

事業項目	内 容
商店街内の店舗案内	消費者の問い合わせに対応
商店街内の店舗の買い物代行	元気のだまごを拠点に高齢者等の買い物弱者の買い物支援
子ども一時預かり	一時預かりを行い、買い物がゆっくりできるような機会を提供する
いこかー利用者支援	いこかー活用の高齢者の買い物客に制度の説明、乗り場の案内、荷物運搬・保管等支援
商店街組織化推進	未組織の商店街を組織化し商店街組織の高度化を目指す
まちの元気づくりイベント企画運営	夕市等のイベント企画
防犯カメラの設置事業	商店街主要4か所の防犯カメラによる24時間撮影機能によって犯罪防止に努める
災害時の緊急避難場所提供	集中豪雨等による災害を想定し、30人規模の被災者を3日間収用する場所の確保と非常食を常備

3 予算額

まちの元気づくり支援事業補助金 1,200千円 補助率 人件費にかかる経費の4分の3以内(役場臨時職員と同程度)

内訳 人件費(賃金・保険等) 1,520千円 臨時雇用1名
 元気のだまご維持管理費 400千円
 イベント等開催費 580千円
 合 計 2,500千円

4 事業の効果

町内商店街に新たな活動拠点・情報発信機能・交流施設ができたことで、これが商店街の核となり、活用されることで商店街の集客力が高まり商店街の活性化につながる。また商店街の売出し情報等の提供・催事の定期開催により消費者の利便性が図られる。更に商店街の組織化を推進することで、商工業者の意識向上が図られ、新たな事業活動が生まれ、商店街機能の高度化に寄与する。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	産業課
目 名 称		商工振興費									
目の予算額		105,319				財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額		5,800 前年度当初 5,600 前年度最終 7,527				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129
									3,864	1,936	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		
1 目的 本町の産業振興及び経営の安定を図り、近年の激化する産地間競争及び販路拡大を推進するため、特産品のPR活動を行い、「しろいしブランド」の名と産物の良さを広め、本町産物の有利販売に向けた施策を講じる。 なお、当該事業の財源の一部は、ふるさと寄付金を充当し、活気と魅力ある豊かなまちづくりに貢献します。											
2 事業内容 (1) 協議会事業活動.....PR推進用オリジナル販促品等製作 県人会、町人会等PR産物代、しろいしみのりちゃんPR活動費 (2) 産物消費宣伝活動.....物産販売活動及び販売促進活動支援 (3) 米消費拡大対策事業.....しろいしぺったんこ祭、歌垣ロードレース、小中学校における米消費拡大宣伝活動 (4) 消費地との交流事業.....地域資源を活用した消費者との交流(れんこんの穴から未来が見える) (5) しろいしブランドイメージアップ事業.....マスコミや広告物を利用し、白石町のイメージアップを図る (6) 町内広告塔のイメージアップ事業.....広告塔5カ所のリニューアル及び撤去 事業主体 白石町特産物PR推進協議会											
3 予算額 しろいしブランド確立対策事業補助金 5,800千円 (1) 協議会宣伝活動 550千円 (2) 産物消費宣伝活動 1,590千円 (3) 米消費拡大対策事業 860千円 (4) 消費地との交流事業 500千円 (5) しろいしブランドイメージアップ事 800千円 (6) 町内施設のイメージアップ事業 1,500千円											
4 事業の効果 事業目的の推進を図るため白石町特産物PR推進協議会を設立し、町・農協・商工会・漁協その他関係機関との連携が図られ、特産物等の消費宣伝活動が推進される。また、マスコミ、広告媒体を活用して、本町のPR及び玉葱・レンコン等農産物の消費宣伝が図られる。											

区分		平成26年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業				所属	産業課
目 名 称		観光費										
目 の 予 算 額		12,032			財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額		6,200 前年度当初 6,200 前年度最終 6,200			国庫	県費	地方債	その他	一般財源	131		
							6,000		200	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出			

1 目的

町民の融和と地域の活性化を目的に、白石町の自然や特産品を活用しイベントを企画、実施するまちおこし運営委員会に対し補助する。またイベントを通じ観光資源の維持・保存、環境美化、緑化推進などの啓発にもつながる。

2 事業内容

委員会の事業経費については町、農協、商工会、町内3漁協の補助金・協賛金及びその他団体等からの協賛金を充て、事業の実施については、出資団体はもとより、町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体及び個人の参加を呼びかけ、町民総参加による事業の実施を促す。

◆ 春期イベント(歌垣春まつり)	1,350,000	円
◆ 夏期イベント(夏まつり)	2,760,000	円
◆ 秋期イベント(べったんこ祭)	3,620,000	円
◆ 振興事業助成、事務費等	250,000	円

平成25年度まちおこし事業予算(案)	7,980,000	円	白石町まちおこし運営委員会予算
--------------------	-----------	---	-----------------

◆ 杵藤地区広域圏補助金	591,000	円	25年度予定額
◆ 団体協賛金等(民負担)	540,000	円	25年度実績額 (農協・漁協・商工会)
◆ その他収入	649,000	円	米消費補助・メッセージ花火収入他

平成25年度まちおこし事業補助金	6,200,000	円
------------------	-----------	---

事業主体 白石町まちおこし運営委員会

【まちおこし事業過年度決算額】

	春まつり	夏まつり	秋まつり	振興事業助成・事務費	合計
21年度	1,294,517 円	2,883,268 円	新型インフルエンザ中止	52,605 円	4,230,390 円
22年度	1,138,030 円	2,639,651 円	3,260,721 円	321,090 円	7,359,492 円
23年度	1,271,447 円	2,640,689 円	3,950,565 円	0 円	7,862,701 円
24年度	1,330,492 円	2,759,952 円	3,486,119 円	0 円	7,576,563 円
25年度	1,334,485 円	2,675,090 円	3,389,205 円	200,000 円	7,598,780 円

※24年度の秋まつりは決算見込み額、振興事業助成、事務費等は予算ベース

3 予算額

まちおこし事業補助金 6,200,000円

4 事業の効果

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
春まつり	約9,000名	約8,500名	約5,000名	約4,000名	約4,000名
夏まつり	約9,000名	約8,500名	約9,000名	約8,000名	約8,000名
秋まつり	新型インフルエンザ中止	約15,000名	約16,000名	約14,000名	約12,000名

事業関係者においては、事業の計画・実施をととした交流による融和が図られ、異業種において新たな協力による展開も望まれる。また、イベント来訪者には本町の観光、産物のPRに寄与する。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円			
款	6	項	1	目	7	細事業名	地盤沈下対策事業費負担金			所属	農村整備課
目 名 称		農地費									
目の予算額		481,591			財 源 内 訳					予算書頁	
予算額		36,000 前年度当初 24,000 前年度最終 24,000			国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116	
							36,000		0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備		
1 目的 地盤沈下地域において、沈下により生じた農業用施設等の被害を復旧するとともに、洪水等による災害に対処する。また、地盤沈下防止のため農業用地下水を地表水に転換した用水路工事等の水源転換事業を目的とする。											
2 事業内容 梅ノ木用水路パイプライン埋設工事 地沈1号水路整備工事 新拓排水機場除塵機設置工事及び連絡水路整備工事 地沈全体の整備補修工事等 全体事業費計画 本工事費 測定、用地、工雑費 600,000 千円											
3 予算額 (補助率 国 55% 県39% 町 6%) 負担金 事業費 600,000千円×6%=36,000千円											
4 事業の効果 地盤沈下により機能低下した農業施設等を改修し機能回復を図るとともに、筑水事業と合わせて地表水への転換を図った用水路の整備を行い、町内一円の末端までスムーズに水の配水ができるようになる。											

区分		平成26年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	筑後川下流土地改良事業推進事業費			所属	農村整備課	
目 名 称		農地費										
目 の 予 算 額		481,591				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	22,872				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117		
									22,872	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		
1 目的 白石平野の農業にとって永年の課題となっていた農業用水の不足を解消し、安定的に農業用水を供給するとともに、地下水依存から地表水への転換を行うことにより、地下水過剰採取による地盤沈下を解消し、併せて農地の排水不良の解消や農業生産性の向上と、農業経営の安定化を図るものである。												
2 事業内容 ① 佐賀・福岡両県をまたがる数市町を事業地域とする広域土地改良事業であるため、国、県、他の市町及び関係諸団体との連携を図り、事業の円滑な推進を図る。 ② 新たな水源開発のため水没した嘉瀬川ダム周辺地域の振興を図る。 ③ 嘉瀬川ダムの水を川上頭首工より取水するための操作委託等の負担金の支払い。												
3 予算額 報償費 251千円 【内訳】 嘉瀬川ダム上下流交流事業謝礼 90 千円 白石町地下水位等検討会報償費 161 千円 負担金 22,621千円 【内訳】 佐賀県協議会負担金 3,976 千円 杵島地区協議会負担金 820 千円 水源地域連携・活性化促進協議会負担金 957 千円 佐賀西部地域推進連絡協議会負担金 16,868 千円 (取水口操作委託・協議会諸経費等)												
4 事業の効果 事業開始から30数年を経過し、H25年度から本格的に通水が始まり、本事業により新たな水利慣行の確立や、今後の維持管理事業の開始に向けた円滑な対応ができる。												

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円					
款	6		項	1		目	7		細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費				所属	農村整備課
目 名 称			農地費												
目の予算額			481,591				財 源 内 訳							予算書頁	
予 算 額			13,000 前年度当初 22,500 前年度最終 12,280				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116			
									13,000		0	継 続			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】				基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備		

1 目的

国で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設の機能を効率的に保全維持するため、実施計画書に基づき順次整備する。実施計画書に基づく工事の事業主体は県であり、町は事業費の一部を負担する。

○白石沿岸地区

有明1号排水機場：ポンプ補機類等の残工事等

有明2号排水機場：ポンプ補機類等の残工事等

有明3号排水機場：ポンプ補機類等の残工事等

○福富地区

八平第1排水機場：エンジン・ポンプの部品の交換・補修・整備、除塵機設備の更新・塗装等

八平第2排水機場：ポンプの部品の交換・補修・整備、除塵機設備の更新・塗装等

六府方排水機場：ポンプの部品の交換・補修・整備、除塵機設備の更新・塗装等

3 予算額

負担金

白石沿岸地区 $20,000 \text{ 千円} \times 20\% = 4,000 \text{ 千円}$

福富地区 $45,000 \text{ 千円} \times 20\% = 9,000 \text{ 千円}$

(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)

4 事業の効果

計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課
目 名 称		農地費				財 源 内 訳					予算書頁
目 の 予 算 額		481,591									116～118
予 算 額		55,608				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116～118
		前年度当初 6,051 前年度最終 6,968					31,500	8,000	4,750	11,358	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備		
1 目的											
団体営事業等で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。 これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。											
2 事業内容											
町内の用排水の基幹的な役割を果たしている地沈水路の制水門の機能を効率的に保全維持するため、計画的に整備する。											
(補助対象事業費の負担割合)											
国 55%											
県 15%											
町 20%											
地元 10% (土地改良区)											
3 予算額											
需用費(消耗品費・燃料費) 53 千円											
工事請負費 47,500 千円											
負担補助及び交付金 8,055 千円											
【内訳】											
地域ストックマネジメント事業事務費賦課金(補助対象事業費の2.5%) 45,000千円×2.5%=1,125千円											
補助金(白石土地改良区が行う事業費に対し事業負担の半額を補助する) 46,200千円×30%×50%=6,930千円											
4 事業の効果											
団体営造成施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方策を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。											

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計		単位:千円							
款	6		項	1		目	9		細事業名	基幹水利施設管理事業 佐賀西部白石地区				所属	農村整備課
目 名 称			水利施設管理事業費												
目 の 予 算 額			104,270				財 源 内 訳					予算書頁			
予 算 額			26,753 前年度当初 25,199 前年度最終 9,899				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119～121			
								8,580		1,216	16,957	継 続			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】				基本計画 第 1 節		農林水産業の振興			

1 目的

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路(調圧水槽含む)の管理に關し、地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するものです。

この施設について、4市町(武雄市・大町町・江北町・白石町)が国から管理委託を受け、事務委託を受ける白石町が代表町となり事務処理を行うもの。

2 事業内容 補助率 国 30% 県30% 4市町 40%(武雄市・大町町・江北町・白石町)

(1) 管理対象施設 : 揚水機場 1箇所(用水量 $2.94 \times 2 = 5.88 \text{ m}^3/\text{S}$)

佐賀西部導水路白石線 8,122m 山脚導水路 6,565m 白石導水路 2,498m 合計 17,185m(調圧水槽含む)

(2) 管理事業内容

揚水機場	揚水機場保守点検
導水路	揚水機場操作・管理点検委託等 操作・管理点検委託等

3 予算額

需用費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	11,079 千円
役務費	通信費、手数料、保険料	1,526 千円
委託料	点検整備委託料	13,437 千円
	(揚水機場等点検整備委託・水管理システム保守点検委託・電気設備保安管理委託)	
	日常管理委託料	690 千円
賃借料	JR軌道敷賃借料	21 千円

武雄市	0.59%
大町町	0.25%
江北町	4.99%
白石町	94.17%
合 計	100.00%

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	佐賀西部導水路管理事業			所属	農村整備課
目 名 称	水利施設管理事業費										
目 の 予 算 額	104,270					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	620					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119・120
	前年度当初 1,252 前年度最終 910					118			286	216	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である佐賀西部導水路の管理に関し、受益地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するものです。

この施設について、7市町(佐賀市・小城市・多久市・武雄市・大町町・江北町・白石町)が国から管理使用を受け、さらに関係市町から、事務委託を受け白石町が代表町となり事務処理を行うもの。

2 事業内容

関係市町 (佐賀市・小城市・多久市・武雄市・大町町・江北町・白石町)

(1) 管理対象施設 : 佐賀西部導水路 11,892m

(2) 管理事業内容

導水路の操作・管理点検

3 予算額

需用費

消耗品・光熱水費

560 千円

役務費

通信費

60 千円

管理費負担割合		
佐賀市	20.85%	7.04%
多久市		19.58%
小城市		73.38%
武雄市	79.15%	0.59%
大町町		0.25%
江北町		4.99%
白石町		94.17%
合 計	100%	

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金農地維持支払事業				所属	農村整備課			
目 名 称													農地費		
目の予算額						481,591				財 源 内 訳				予算書頁	
予算額						37,814				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118
										前年度当初 0 前年度最終 0					
白石町総合計画 (人と大地がうおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】					基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援します。

2 事業内容

農業者等による組織が取り組む地域資源の基礎的保全活動(草刈り、水路の泥上げ)や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援。

多面的機能支払交付金農地維持支払事業

負担割合: 国50%県25%町25%

支援単価

田	3,000円/10a	66地区	現農地水活動組織で活動
畑	2,000円/10a		

活動組織数 66組織

単位:千円

対象農地面積(ha)		事業費	町費負担金
田	畑		
4,943	148	151,253	37,814

3 予算額

多面的機能支払交付金農地維持支払事業補助金

37,814千円

4 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによる地域の環境保全の向上。
受益農地面積 5,091ha

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																															
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業 (旧 農地・水保全管理支払交付金 共同活動支援事業)			所属	農村整備課																											
目 名 称		農地費																																				
目の予算額		481,591			財 源 内 訳					予算書頁																												
予 算 額	24,035			国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118																													
				前年度当初 42,942 前年度最終 43,617			1,000			23,035	継 続																											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																													
1 目的																																						
農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。																																						
2 事業内容																																						
地域住民を含み組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援。																																						
多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業 (旧 農地・水保全管理支払交付金 共同活動支援事業)																																						
負担割合:国50%県25%町25%																																						
支援単価																																						
<table><tr><td>田</td><td>2,400円/10a (1,800円/10a)</td><td rowspan="2">66地区</td><td rowspan="2">農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を</td></tr><tr><td>畑</td><td>1,440円/10a (1,080円/10a)</td></tr></table>												田	2,400円/10a (1,800円/10a)	66地区	農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を	畑	1,440円/10a (1,080円/10a)																					
田	2,400円/10a (1,800円/10a)	66地区	農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を																																			
畑	1,440円/10a (1,080円/10a)																																					
活動組織数 66組織 単位:千円																																						
<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">対象農地面積(ha)</td><td rowspan="2">事業費</td><td rowspan="2">町費負担金</td></tr><tr><td>田</td><td>畑</td></tr><tr><td>5年以上継続地区</td><td>3,288</td><td>98</td><td>60,253</td><td>15,064</td></tr><tr><td>5年未満 (長寿命化取組)</td><td>1,411</td><td>46</td><td>25,900</td><td>6,475</td></tr><tr><td>5年未満 (長寿命化未取)</td><td>244</td><td>4</td><td>5,896</td><td>1,474</td></tr><tr><td>計</td><td>4,943</td><td>148</td><td>92,049</td><td>23,013</td></tr></table>													対象農地面積(ha)		事業費	町費負担金	田	畑	5年以上継続地区	3,288	98	60,253	15,064	5年未満 (長寿命化取組)	1,411	46	25,900	6,475	5年未満 (長寿命化未取)	244	4	5,896	1,474	計	4,943	148	92,049	23,013
	対象農地面積(ha)		事業費	町費負担金																																		
	田	畑																																				
5年以上継続地区	3,288	98	60,253	15,064																																		
5年未満 (長寿命化取組)	1,411	46	25,900	6,475																																		
5年未満 (長寿命化未取)	244	4	5,896	1,474																																		
計	4,943	148	92,049	23,013																																		
3 予算額																																						
多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業補助金 23,013千円																																						
特別旅費(多面的機能支払研修) 72千円																																						
消耗品費 400千円																																						
燃料費 150千円																																						
光熱水費 400千円																																						
事務費 計 1,022千円 (県推進交付金 1,000千円 町費 22千円)																																						
4 事業の効果																																						
農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによる地域の環境保全の向上。																																						
受益農地面積 5,091ha																																						

区分		平成26年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業 (旧 農地・水保全管理支払交付金 向上活動支援事業)				所属	農村整備課
目 名 称		農地費										
目の予算額		481,591				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		47,155				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118	
						前年度当初 15,125 前年度最終 44,389						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 目的

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図り、施設の長寿命化のための活動を支援する。

2 事業内容

水路の整備、更新 ・ 農道のコンクリート、アスファルト舗装 ・ ゲート、ポンプの整備、更新
土側溝のコンクリート側溝への更新 ・ ため池のゲート、バルブの更新等

多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業
・(旧 農地・水保管理支払交付金 向上活動支援事業)

負担割合：国50%県25%町25%

支援単価

田	4,400円/10a	H23採択地区	16地区
畑	2,000円/10a	H24採択地区	6地区
		H25採択地区	26地区
		H26予定	1地区

活動組織数 49組織

単位：千円

対象農地面積(ha)		事業費	町費負担金
田	畑		
4,225	136	188,620	47,155

3 予算額

多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業補助金

47,155千円

4 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによる地域の環境保全の向上。

受益農地面積 4,361ha

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業経営構造改善事業			所属	農村整備課	
目 名 称	水産振興費											
目 の 予 算 額	235,702					財 源 内 訳			予算書頁			
予 算 額	205,051					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	126	
	前年度当初 70 前年度最終 70						189,871			15,180	新 規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
1 目的 白石管内にある冷凍施設は、昭和50年代に建設され施設の老朽化が進み維持費に要する経費が増大している。冷凍網の入出庫は現在ほとんど手作業で行われており、過重労働となっている。また、民間の施設を利用している漁業者もおり経費の増大と冷凍網の品質の低下につながっている。 このことから施設の老朽化が進む中、合併を契機に施設の見直しと労働力の軽減を図るため、冷凍保管施設整備に対し補助金として助成する。 また、施設整備にあわせて、建設に向けた先進地視察・会議等のソフト事業に取り組む協議会には負担金として助成し施設運営の充実を図る。 2 事業内容 □事業名 漁業経営構造改善事業 □事業期間 平成26年度～平成28年度 □事業主体 白石町産地協議会(佐賀県有明海漁業協同組合・佐賀県・白石町) □事業内容 ソフト事業 先進地視察・会議等 100千円(町補助50%:50千円) ハード事業 漁獲物鮮度保持施設: 冷凍保管施設 平屋建 1棟 1,056.24㎡ 冷凍機械設備等一式 網収容能力(冷凍網+竹付き): 24,000枚 □総事業費 総事業費 293,700千円:内訳291,400千円(工事費)・2,000千円(市町村附帯事務費)・100千円(ソフト事業費) 3 予算額 11. 需用費 840千円 消耗品費 657千円 燃料費 33千円(公用車ガソリン) 光熱費 150千円(庁舎電気料) 12. 役務費 45千円 45千円(庁舎電話料) 14. 使用料及び賃借料 136千円 30千円(事務機器リース料) 106千円(公用車リース料) 19. 負担金補助及び交付金 204,030千円 (ソフト事業分) 50千円 (ハード事業分) 203,980千円=145,700千円(国費)+43,710千円(県費)+14,570千円(町費) ※町附帯事務費(2,000千円)の内、1,079千円(担当者3ヶ月分)を人件費として充当する。 4 事業の効果 漁業協同組合、町等の関係者からなる産地協議会が実施する成果目標の達成及び地先資源や施設の利活用のための知識・技術の取得ができ、 また、施設整備においては、作業効率の向上、保管経費の削減による漁労所得の向上と冷凍網の品質向上が見込まれる。												

[負担区分割合] H26年度 (千円)

(ソフト事業)

町	50	50.0%
漁協	50	50.0%
計	100	100%

(ハード事業) 町附帯事務費を除く

県 (国庫)	145,700	50.0%
(県費)	43,710	15.0%
町	14,570	5.0%
漁協	87,420	30.0%
計	291,400	100%

町附帯事務費

県 (国庫)	1,000	50.0%
町	1,000	50.0%
計	2,000	100%

■歳入

漁業経営構造改善事業補助金 190,410千円

(①+②+③)

※歳入のうち539千円は別途充当

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	3	目	3	細事業名	新有明漁港整備事業				所属	農村整備課
目 名 称		漁港整備事業費										
目 の 予 算 額		54,972			財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	54,972			国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127・128			
				25,000	5,563	17,000	1,936	5,473	継 続			
前年度当初 204,644 前年度最終 377,004												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			
1 目的												
資源管理型漁業・つくり育てる漁業等への支援、安全で快適な漁業地域の形成を図るため、漁業施設の集約化や経営の協業化等の漁業情勢に対応でき、安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業・海洋性レクリエーションなど総合的に配慮した「白石地域水産業の拠点」としての漁港整備を行う。 防波堤を備えた道路として抜本的改良を行うことにより、漁港機能の保全及び漁業活動の安全確保を図るとともに、港外からの泥土の流入を防ぐ防波堤の効果により只江川河口部の閉塞を防ぐ導流堤としての役割を有し、只江川流域の水害時の安全確保を図る。												
2 事業内容												
事 業 内 容		全 体 計 画		H26年度事業(H25繰越分+H26予算)								
係留施設(浮桟橋)		460m		460m 附属設備工事								
水域施設(泊地浚渫)		36,000㎡		36,000㎡ (H21年度に一部27,000㎡浚渫実施)								
輸送施設(道路)		2,965m		6・7号道路 (355m)								
用地(漁具保管等)		82,367㎡		用地造成 (27,007㎡)								
橋梁施設(新拓橋)		橋梁25m		橋梁25m								
3 予算額												
9. 旅 費： 関係機関協議・技術研修等 197千円												
11. 需用費： 606千円 消耗品費 300千円 燃料費 186千円 印刷製本費 20千円 修繕料 100千円												
12. 役務費： 通信運搬費(情報提供料) 11千円												
14. 使用料及び賃借料： 事務機器・公共事業積算共同利用システム使用料等 535千円												
15. 工事請負費： 既設桟橋改良・橋梁改築等 53,000千円												
18. 備品購入費 623千円 (公用車(7カ年使用)買い取り)												
4 事業の効果												
安全で快適な漁業地域の形成及び漁業経営の向上												

●総事業費(補助対象事業)
50,000千円 [国 50%・県 25%・町 25%]

■歳入	
①漁港整備事業補助金(国庫) 50,000千円×50%	25,000千円
②漁港整備事業補助金(県費) 用地造成 38,735千円×10% 道路整備 11,265千円×15%	5,563千円
③用地造成に伴う漁協分担金 38,735千円×5%	1,936千円